

編集後記

今回の『多元文化』第14号への投稿は12篇、そのうち審査を通過した8篇の論文を掲載しています。そして、教員による論文も1篇掲載しています。今回も多くの方に審査を快く引き受けて頂き、投稿論文に有意義なコメントを寄せて頂きました。心よりお礼申し上げます。

今回の表紙は、公募制により国際言語文化専攻・アメリカ言語文化講座の川口勇作さんの作品が選ばれました。以下のコメントも寄せて頂きました。「見た目（湖に映る町並み）にとらわれることなく、様々な障害（湖の穴やヒビ）を越えて、真実（湖の向こうの本物の町並み）を探求していきたいという研究への姿勢を表しています」。次号も表紙の公募を行う予定なので、論文投稿とともに、『多元文化』が多くの院生の活躍の舞台となればと思います。

これまで、『多元文化』の投稿者は在学する院生が中心となっていましたが、近年修了生からの投稿も着実に増えています。通信技術の発達によって、遠距離でも投稿者と編集者とのやり取りが可能です。今後、日本国内外で活躍されている修了生の投稿がさらに増えることを見込んで、より効率的に対応していく査読・編集体制も検討しなければならないと考えています。

楊 韜